

第2 農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事者の態様等に関する営農の類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標

第1に示したような目標を可能とする効率的かつ安定的な農業経営の指標として、現に香取市及び周辺市町で展開している事例を踏まえつつ、香取市における主要な営農類型についてこれを示すと次のとおりである。

- (注) 1 組織経営体とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、又はこれと併せて農作業を受託する経営体であって、その主たる従事者が他産業並の労働時間で地域の他産業従事者と遜色ない水準の生涯所得を行い得るもの（例えば、農事組合法人、株式会社の他農業生産組織のうち経営の一体性及び独立性を有するもの。）。
- 2 経営組織体においては、その前提となる労働力構成を主たる従事者の人数として記入するものとする。この場合、上記の経営指標で示される農業経営の所得目標は、主たる従事者が目標とする所得の額が第1で掲げた目標に到達することを基本とする。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
水稲専作	水田28ha 自作地 2ha 借入地 26ha 労働力 家族 2名 (主たる従事者 1名 補助 1名)	所得 750万円 労働時間 3,892時間	[資本装備] ・トラクター 40～60ps ・乗用施肥田植機 6条 ・育苗施設 ・自脱型コンバイン 6条 ・乾燥調整施設 ・トラック ・軽トラック ・畔塗機 [技術内容] ・稚苗移植栽培 ・適正な品種の組合せ	・長期間の借地 ・圃場の大型連担化 ・圃場別栽培記録 ・パソコンなどの活用 による経営管理	・家族経営協定の締結に基づく給料制、 休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 3,020万円 - 農業経営費 2,270万円 = 農業所得 750万円

1 品目 水稲 5 所得率 25%

2 規模 6 単位規模当たりの労働時間 13.9時間/10a

ふさおとめ 5ha

ふさこがね 5.8ha

コシヒカリ 6ha

飼料用米 11.2ha(区分管理)

7 総労働時間 3,892時間

3 生産量
主食用米(540kg/10a)
飼料用米(630kg/10a)

4 単価
183円/kg(主食用)
10円/kg(飼料用) ※飼料用米交付金113千円/10a

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

組織経営体(営農組合)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
水稻大規模 (組織)	水田100ha 畑2ha 労働力 理事 6名 (主たる従事 者 6名) 常時雇用2名 臨時雇用3名	所得 3, 145万円 労働時間 17, 500時間	[資本装備] ・トラクター 45～60ps(3～4台) 施肥田植機8条、6条 ・播種・育苗機 ・コンバイン 6条(3台) ・乾燥調整施設 ・トラック ・軽トラック ・フォークリフト ・パイプハウス ・ねぎ定植機 ・収穫機、調製施設 ・作業場 ・格納庫	・長期間の借地 ・圃場の大型連担化 ・省力技術の導入 ・パソコンなどの活用による経営管理	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入 ・雇用導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得 (1人当たり)
11, 820万円 8, 675万円 3, 145万円 524万円

1 品 目(品種)

コシヒカリ、ふさおとめ、ふさこがね

2 規 模

コシヒカリ10ha、ふさおとめ10ha、ふさこがね20ha
飼料用米(多収性品種)60ha

3 生産量

540kg/10a(主食用)
600kg/10a(飼料用)
2, 000kg/10a(ねぎ)

4 単 価

183 円/kg(主食用)
10 円/kg(飼料用)
※交付金108千円/10a
250円/kg(ねぎ)

6 所得率

水稻:28. 3%
ねぎ: 8. 8%

7 単位規模当たりの労働時間

水稻:13. 9時間/10a
ねぎ:177時間/10a

8 総労働時間

17, 500時間

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

組織経営体(営農組合)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
水稲+麦 +大豆	水田 45ha 自作地 10ha 借入地 35ha 労働力 構成員4名 (主たる従事 者2名) 臨時雇用 3名	所得 2, 106万円 (助成金含む) 労働時間 6, 445時間	[資本装備] ・トラクター 40PS(2台) ・施肥田植機 6条(1台) ・汎用コンバイン (2m刈幅1台) ・畔塗り機 ・代かきハロー ・乾燥調製施設 ・作業舎 ・格納庫 ・トラック ・サブソイラー ・ハローシーダー ・ブームスプレイヤー ・ロータリカルチ ・大豆選別機	・長期の借地 ・圃場の団地化 ・2年3作ブロックロー テーション ・パソコンなどの活用 による経営管理 ・法人化	・雇用導入 ・計画的な休日体制 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
5, 676万円 3, 570万円 2, 106万円 ※

1 品目

水稲 30ha
大豆 15ha
小麦 15ha

5 単位当たり労働時間

水稲 13. 9時間/10a
大豆 7. 6時間/10a
小麦 7. 6時間/10a

2 生産量

水稲 162, 000kg (540kg/10a)
大豆 18, 000kg (120kg/10a)
小麦 45, 000kg (300kg/10a)

6 助成金等

水田活用直接支払交付金
畑作物直接支払交付金

3 単価

水稲 183円/kg
大豆 100円/kg
小麦 30円/kg

4 所得率

37%

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
露地野菜 専作 (さつまいも)	畑 2.9ha 自作地 1.5ha 借入地 1.4ha 労働力 家族 2.5名 (主たる従事者1名)	所得 752万円 労働時間 3,799時間	[資本装備] ・トラクター 43ps・20ps ・マルチ同時消毒機 ・つる刈り機 ・ポテカルゴ ・洗浄機 ・動力噴霧器 ・深耕ロータリー ・深土破碎機 ・マルチ回収機 ・貯蔵施設 ・フォークリフト ・トラック ・育苗、貯蔵ハウス ・根菜選別機 [技術内容] ・土壌分析による合理的な施肥 ・ドローン等による効率的な病虫害防除	・市場動向を踏まえた品種構成 ・家族経営協定の締結 ・機械化による作業の省力化	・休日制の導入 ・各種保険加入

【算定根拠】

$$\begin{array}{rclcl} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ 1,786\text{万円} & & 1,034\text{万円} & & 752\text{万円} \quad ※ \end{array}$$

1 品目及び規模

さつまいも 2.9ha

2 生産量

さつまいも 81,200kg(2,800kg/10a)

3 単価

さつまいも 220円/kg

4 所得率

42%

5 単位当たり労働時間

131時間/10a

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設野菜 イチゴ (高設栽培)	ハウス 4,000m ² 労働力 家族 2名 (主たる従事者 1名、 補助 1名) 雇用 2名	所得 730万円 労働時間 6,792時間 主たる従事者 2,000時間 補助 1,800時間 雇用 3,000時間	[資本装備] ・トラクター ・加温機 ・動力噴霧器 ・トラック ・育苗ハウス ・高設ベンチ ・給液装置 ・ビニールハウス [技術内容] ・ポット植育苗 ・短期株冷育苗技術による早期出荷 ・土壌診断分析による合理的施肥 ・ミツバチ交配 ・ウイルスフリー苗増殖による良品生産	・パソコン利用による 経営管理 ・作業の簡素化 ・定期的研修会 ・家族経営協定の締結 ・制度資金の活用	・休日制の導入
【算定根拠】					
<p>農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得 1,920万円 1,190万円 730万円</p>					
1 品目 イチゴ					5 所得率 イチゴ 43%
2 規模 イチゴ 40a					6 単位規模当たりの労働時間 イチゴ 1,698時間/10a
3 生産量 イチゴ 16,000kg(4,000kg/10a)					7 総労働時間 6,792時間
4 単価 イチゴ 1,200円/kg					8 補助者、雇用者の労働時間 補助者 1,800時間 雇用者 3,000時間

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設野菜 (キュウリ)	ハウス 3,000㎡ 労働力 家族 3名 (主たる従事 者1名)	所得 750万円※ 労働時間 5,031時間	[資本装備] ・トラクター ・鉄骨ハウス ・防除機 ・暖房機 ・灌水施設 ・複合環境制御装置 ・集出荷場(作業場) [技術内容] ・土壌分析による効果 的な施肥 ・環境制御技術の改善	・パソコン利用による 経営管理 ・集選果施設の利用 ・家族経営協定の締結	・休日制の導入 ・各種保険の加入

【算定根拠】

$$\begin{array}{rclcl} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ 2,157\text{万円} & & 1,407\text{万円} & & 750\text{万円} \quad ※ \end{array}$$

1 品目(作型)及び規模	5 単位規模当たりの労働時間
促成キュウリ 3,000㎡	促成キュウリ 1,238時間/10a
夏秋キュウリ 3,000㎡	夏秋キュウリ 1,200時間/10a
2 生産量	
促成キュウリ 45,000kg (15,000kg/10a)	
夏秋キュウリ 30,000kg (10,000kg/10a)	
3 単価	
促成キュウリ 300円/kg	
夏秋キュウリ 269円/kg	
4 所得率	
促成キュウリ 37%	
夏秋キュウリ 31%	

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設野菜 専作 (トマト)	ハウス 4,000㎡ 労働力 家族 4名 (主たる従事 者 1名)	所得 770万円 労働時間 7,000時間	[資本装備] ・トラクター ・トラック ・ハウス(育苗含む) ・暖房機 ・防除機 ・灌水施設 ・環境測定器 ・作業場 ・倉庫 [技術内容] ・土壌診断分析による 合理的施肥 ・環境制御技術の改善	・パソコン利用による 経営管理 ・家族経営協定の締結	・休日制の導入 ・各種保険加入

【算定根拠】

$$\begin{array}{rclcl} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ 2,800\text{万円} & & 2,030\text{万円} & & 770\text{万円} \end{array}$$

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 品目(作型)及び規模
長期どりトマト 4,000㎡ | 5 単位当たりの労働時間
長期どりトマト 1,750時間/10a |
| 2 生産量
長期どりトマト 100,000kg (25,000kg/10a) | |
| 3 単価
長期どりトマト 280円/kg | |
| 4 所得率
長期どりトマト 30% | |

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設花き (カーネーション)	ハウス 4,000㎡ 労働力 家族 3名 (主たる従事者 1名) 常時雇用 2名	所得 750万円 労働時間 8,136時間	[資本装備] ・鉄骨ハウス ・自動カーテン ・土壌消毒機 ・養液土耕装置 ・選花結束機 ・自走式防除機 ・予冷库 ・集出荷場 ・暖房機 [技術内容] ・商品性・生産性の高い品種の採用 ・耐病性品種の採用 ・土壌診断による合理的施肥管理及び品質の向上 ・作業の省力化 ・冬期の夜温管理	・パソコンなどの活用による経営管理 ・家族経営協定の締結	・常時雇用の導入 ・部門分担制の採用

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
2,950万円 2,200万円 750万円 ※

1 品種構成及び規模

スタンダード品種 3,000㎡
スプレー品種 1,000㎡

4 所得率

25%

2 生産量

スタンダード品種 376,200本
スプレー品種 125,400本

5 単位当たりの労働時間

2,034時間/10a

3 単価

スタンダード品種 59円/本
スプレー品種 59円/本

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
施設花き (胡蝶蘭)	ハウス 4,000㎡ 労働力 家族 3名 (主たる従事 者 1名、補 助 2名) 雇用 1名	所得 778万円 労働時間 8,400時間 主たる従事者 2,100時間 補助 4,000時間 雇用 2,300時間	[資本装備] ・鉄骨ハウス ・農業用エアコン ・作業場 ・トラック [技術内容] ・商品化率の向上 ・補光資材の採用 ・作業の省力化、標準化	・契約生産、販売 ・定期的研修会 ・パソコン利用による 経営管理 ・家族経営協定の締結 ・制度資金の活用	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
4,986万円 4,208万円 778万円 ※

1 品目 5 所得率
胡蝶蘭 胡蝶蘭 15.6%

2 規模 6 単位規模当たりの労働時間
胡蝶蘭 40a 2,100時間/10a

3 生産量 7 総労働時間
胡蝶蘭(切り花) 126,000本(35,000本/10a) 8,400時間
胡蝶蘭(ミデイ) 4,000鉢(1,000鉢/1a)

4 単価
胡蝶蘭(切り花) 325円/本
胡蝶蘭(ミデイ) 2,228円/鉢

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
果樹専作 (なし)	樹園地 1.6ha (自作地 1.6ha) 労働力 家族 2.5名 (主たる従事 者 1名)	所得 757万円 労働時間 3,936時間	[資本装備] ・トラクター <アタッチメント> ・ロータリー、マニュアルスプレッタ ・ホルディカー ・スピードスプレヤー ・多目的防災網 ・収穫台車、トレーラー ・軽トラック、選果機 ・作業舎 ・果樹棚 [技術内容] ・花芽摘除、摘蕾、人工受粉、早期摘果 ・適正な新梢管理 ・土壌改良 ・省力的樹形 ・「幸水」の計画的改植と早期成園化 ・減農薬栽培	・生産管理 計画的改植 適期適正管理 苗木の適正管理 品種構成の改善	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
1,672万円 915万円 757万円 ※

1 品種構成及び規模(成園160ha)

幸水 85a
豊水 40a
あきづき 30a
新高 5a

3 単価(市場)

幸水 : 540円/kg
豊水 : 490円/kg
あきづき : 500円/kg
新高 : 250円/kg

2 生産量

幸水 : 1,800kg/10a
豊水 : 2,300kg/10a
あきづき : 2,300kg/10a
新高 : 4,000kg/10a

4 所得率

45%

5 単位当たりの労働時間

246時間/10a

[うち家族246時間/10a]

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
果樹専作 (ぶどう)	ハウス 120a 労働力 家族 2名 (主たる従事者 1名、補助 1名) 雇用 1名	所得 764万円 労働時間 4,050時間 主たる従事者 1,800時間 補助 1,290時間 雇用 960時間	[資本装備] ・トラクター 〈アタッチメント〉 ロータリー、マニュアルプレッシャー ブロードキャスター スピードスプレーヤー 果樹棚 トレーラー、軽トラック 作業所、直売所 [技術内容] ・花振り対策 ・適正着果数 ・新梢管理 ・土壌管理 ・温度管理	・生産管理 適期適正管理 ・販売管理 販路の拡大 顧客リスト整備 ・複式簿記	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
2,510万円 1,746万円 764万円 ※

1 品 種	ぶどう デラウェア (無加温) 巨 峰 (加温・無加温) シャインマスカット(加温・無加温)	4 単 価 直 売 市 場 デラウェア : 900円 1,026円 巨 峰 : 1,500円 1,000円 シャインマスカット : 2,500円 2,000円
2 規 模 100a	デラウェア : 20a 巨 峰 : 80a シャインマスカット : 20a	5 所得率 45%
3 生産量	デラウェア : 1,100kg/10a 巨 峰 : 1,100kg/10a シャインマスカット : 1,100kg/10a	6 単位規模当たりの労働時間 487時間/10a 〔 うち家族365時間/10a 雇用122時間/10a 〕
		7 総労働時間 6,818時間

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
果樹専作 (いちじく)	露地 50a ハウス 10a 労働力 家族 3名 (主たる従事者 1名)	所得 798万円 労働時間 3, 216時間 主たる従事者 2, 000時間 補助 1, 216時間	[資本装備] 耕耘機 動力噴霧機 果樹棚、防鳥ネット 軽トラック 作業所兼直売所 予冷库 [技術内容] ・防寒対策 ・省力的樹形 ・新梢管理 ・土壌改良 ・病虫害の適期防除	・生産管理 適期適正管理 ・販売管理 販路の拡大 顧客リスト整備 ・複式簿記	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
1,612万円 814万円 798万円 ※

1 品 種 5 所得率 50%
いちじく(露地・柵井トーフイン)
(ハウス無加温・柵井トーフイン)

2 規 模 60a 6 単位規模当たりの労働時間
露 地 : 50a 536時間/10a
ハウス : 10a

3 生産量 7 総労働時間
露 地:2,000kg/10a 3, 216時間
ハウス:2,400kg/10a

4 単 価 直 売
露 地:1,300円
ハウス:1,300円

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
果樹専作 (ブルーベリー)	ブルーベリー 80a 労働力 家族 2名 (主たる従事 者 1名)	所得 748万円 労働時間 3,696時間	[資本装備] ・トラクター ・トラック ・防鳥網 ・果樹棚 [技術内容] ・ネット設置による鳥獣 被害対策の実施	・パソコン利用による経 営管理 ・作業の簡素化 ・定期的研修会 ・制度資金の活用	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
1,600万円 848万円 752万円

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 品目
ブルーベリー | 6 単位規模当たりの労働時間
ブルーベリー 462時間/10a |
| 2 規模
ブルーベリー 80a | 7 総労働時間
3,696時間 |
| 3 生産量
ブルーベリー 6,400kg(800kg/10a) | |
| 4 単価
ブルーベリー 2,500円/kg | |
| 5 所得率
ブルーベリー 47% | |

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
酪農専業	乳牛 経産牛 33頭 未經産牛 11頭 労働力 家族 2名 (主たる従事 者 1名) 臨時雇用 2名	所得 750万円 労働時間 4, 218時間	[資本装備] ・牛舎(搾乳、育成) ・育成舎 ・堆肥舎 ・発酵処理施設 ・自動離脱搾乳装置 ・自給飼料生産機械 一式(トラクター他) [技術内容] ・TMR方式 ・牛群検定の利用 ・稲WCS、飼料用米の 活用	・飼養衛生管理基準の 遵守 ・自給飼料生産基盤の 団地化及び水田利活用 ・作業の外部化 ・稲WCS、飼料用米、 堆肥利用の促進 ・家族経営協定の締結	・休日制の導入 ・ヘルパーの活用 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益(生乳+副産物) - 農業経営費 = 農業所得
3, 788万円 3, 038万円 750万円 ※

1 品 目 酪農専業(乳牛) 5 所得率 20%

2 規 模 経産牛 33頭(うち搾乳牛33頭) 6 労働時間
未經産牛 13頭 搾乳牛1頭当たり129時間

3 生産量 搾乳牛1頭当たり 8, 800kg

4 単価 乳価 114円/kg

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
肉用牛 専業	黒毛和種等 127頭 出荷頭数 75頭 労働力 家族 2名 (主たる従事 者 1名)	所得 750万円 労働時間 3, 696時間	[資本装備] ・牛舎(肥育、育成) ・自給飼料生産機械 一式(トラクター他) ・堆肥舎 ・発酵処理施設 [技術内容] ・国産稲わらの活用 ・発酵飼料の活用 ・稲WCS、飼料用米の 利用	・飼養衛生管理基準の 遵守 ・自給飼料生産基盤の 団地化及び水田利活用 ・作業の外部化 ・稲WCS、飼料用米、 堆肥利用の促進 ・家族経営協定の締結	・休日制の導入 ・ヘルパーの活用 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益(肥育牛+副産物) 9, 740万円
 農業経営費 8, 990万円
 農業所得 750万円 ※

1 品 目 黒毛和種等専業 4 単 価 2, 501円/kg

2 規 模 黒毛和種 127頭 5 所得率 8%
 年間販売頭数 75頭

3 生産量 肥育牛1頭当たり 6 労働時間
 生体重 814kg 肥育牛1頭当たり 49時間
 枝肉歩留 63%
 枝肉重量 513kg

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
採卵養鶏 専業	採卵経営 40,000羽 労働力 家族 2名 (主たる従事 者 1名、補 助 1名) 雇用 1名	所得 759万円 労働時間 5,200時間 主たる従事者 2,000時間 補助者 1,600時間 雇用者 1,600時間	[資本装備] ・鶏舎(ウインドレス) ・鶏糞処理施設 ・倉庫 ・飼料タンク ・自動給餌システム ・自動集卵機 ・自動除糞装置 ・トラック ・バケットローダー [技術内容] ・大雛導入 ・光線管理 ・効率的なワクチネー ション ・効率的なステージ別 飼料給与 ・効率的な糞尿処理	・パソコンによる経営管理 ・補助者(雇用)の確保 ・選卵作業のGPセンター 委託 ・家族経営協定の締結	・休日制の導入 ・月給制

【算定根拠】

$$\begin{array}{rclcl} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ 15,170\text{万円} & & 14,411\text{万円} & & 759\text{万円} \quad ※ \end{array}$$

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 品目 採卵養鶏専業 | 7 総労働時間 5,200時間 |
| 2 規模 採卵鶏 40,000羽 | 8 補助、雇用者の労働時間
補助者 1,600時間
雇用者 1,600時間 |
| 3 生産量 成鶏1羽当たり採卵量 18.5kg | |
| 4 単価 205円/kg | |
| 5 所得率 5% | |
| 6 単位規模当たりの労働時間
採卵鶏100羽当たり 13時間/年 | |

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
きのこ類 (マッシュルーム)	菌舎 480㎡ 労働力 家族3名 (主たる従事者1名、 補助 2名) 雇用 1名	所得 766万円 労働時間 5,645時間 主たる従事者 2,000時間 補助 3,000時間 雇用 645時間	[資本装備] ・菌舎 ・コンポスト ・ベルトコンベア ・管理用器具 ・保冷库 ・消毒用ボイラー ・クーラー ・フォークリフト [技術内容] ・適正な菌舎の環境 管理	・家族経営協定の締結 ・青色申告の実施 ・複式簿記 ・パソコン利用による 経営管理 ・制度資金の活用 ・作業管理日誌の記帳	・休日制の導入
【算定根拠】					
<p>農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得 4,032万円 3,266万円 766万円</p>					
<p>1 品目(作型) 5 所得率 マッシュルーム マッシュルーム 19%</p>					
<p>2 規模 6 単位規模当たりの労働時間 マッシュルーム 28.8a マッシュルーム 1,960時間/10a</p>					
<p>3 生産量 7 総労働時間 マッシュルーム 57,600kg(20,000kg/10a) 5,645時間</p>					
<p>4 単価 8 補助者、雇用者の労働時間 マッシュルーム 700円/kg 補助者 3,000時間 雇用者 645時間</p>					

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体(家族経営)

営農類型	規模	所得及び労働時間	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様
水稲 +きのこ類 (マッシュ ルーム)	水稲 350a 菌舎 400m ² 労働力 家族 3名 (主たる従事者 1名、補助 2名)	所得 552万円 労働時間 5,750時間 主たる従事者 2,000時間 補助 3,750時間	[資本装備] ・菌舎 ・コンポスト ・ベルトコンベア ・管理用器具 ・保冷库 ・消毒用ボイラー ・クーラー ・乾燥機 ・コンバイン ・田植機 ・糶摺り機 ・作業場 ・トラック ・トラクター ・精米機 [技術内容] ・適正な菌舎の環境 管理	・家族経営協定の締結 ・青色申告の実施 ・複式簿記 ・パソコン利用による 経営管理 ・制度資金の活用 ・作業管理日誌の記帳	・休日制の導入

【算定根拠】

農業粗収益 ー 農業経営費 = 農業所得
 3,802万円 3,052万円 750万円 ※

1 品目(作型)

マッシュルーム+水稲

5 所得率

マッシュルーム 19%
 水稲 26.8%

2 規模

マッシュルーム 24a
 水稲 350a

6 単位規模当たりの労働時間

マッシュルーム 1,958時間/10a
 水稲 30時間/10a

3 生産量

マッシュルーム 49,200kg(20,500kg/10a)
 水稲 19,600kg(560kg/10a)

7 総労働時間

5,750時間

4 単価

マッシュルーム 700円/kg
 水稲 183円/kg

8 補助者、雇用者の労働時間

雇用者 3,750時間

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする
 1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。